

感染症情報 10月2日～8日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①咽頭結膜熱	752例(堺市	76例)
②感染性胃腸炎	534例(堺市	52例)
③溶連菌感染症	524例(堺市	41例)
④手足口病	101例(堺市	13例)
⑤ヘルパンギーナ	63例(堺市	5例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 2,183例(堺市 255例)

報告数による順位である。前週比7.4%減の2,119件の報告であった。咽頭結膜熱が府下で10%減、定点当たり4.24→3.82であった。堺市で前回90例→今回76例。定点当たり4.74→4.00であった。感染性胃腸炎が府下で前週比2%減、堺市で前週71例→今回52例であった。溶連菌感染症が府下で3%減、堺市で前週59例→今回41例。手足口病が府下で20%減、堺市で前回15例→今回13例であった。ヘルパンギーナが府下で11%減、堺市で前回6例→5例であった。

インフルエンザが府下で前週2,023例→2,183例で8%増、堺市で前週241例→今回255例は6%増であった。定点当たり大阪府は6.61→7.13に、堺市は8.31→8.79に悪化。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,179例(堺市 196例)
大阪府定点 3.85 堺市定点 6.76

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
36	101	109	246	102	74	98	127	105	95	86	1179

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週2,148例→今回1,179例は45%の大幅減、定点当たり7.02→3.85であった。堺市は前週276例→今回196例で29%減、定点当たり9.52→6.76であった。大阪府のブロック別でワーストは変わらない。

麻疹や風疹の報告はなかった。